

個性ある地域文化の継承・発展を目指して

今後7年の目標を提唱します。

本日、2013年10月19日、私たちは、松江市くにびきメッセで開かれた第1回全国ヘリテージマネージャー大会において全国各地の実績と活動経験を学び合いました。

2001年に兵庫で始まったヘリテージマネージャー養成とその活動は、今や、全国に広がろうとしています。循環型社会への移行は時代の趨勢であり、建築の世界においてもスクラップアンドビルドからストックの活用が求められる時代となりました。

私たちヘリテージマネージャーは、地域固有の歴史文化遺産を地域の財産として活用することにより、地域文化の個性的な継承・発展を目指しています。その地域がもつ歴史・風土・文化をかけがえのないものとして捉えることからすべてが始まります。そこには、全国スタンダードはありません。また、地域によって人材養成から活動展開に至るプロセスはさまざまです。アプローチの仕方も取り巻く環境も異なります。これらの「違い」を認め、活かしつつ、各地域が連携・交流していくことで更なる発展が期待できます。

ここに、私たちは7年後の東京オリンピックに向けて以下のことを提唱します。

- 一 全国の重要伝統的建造物群保存地区の数を倍にし、その国家予算を10倍にしましょう。
- 一 歴史まちづくり法の要件を緩和して、同法の重点区域を全国各地に広げ、200地区としましょう。
- 一 これらの運用の主體的な役割をヘリテージマネージャーが果たしてまいりましょう。

全国のヘリテージマネージャーとその志を同じくする仲間たちと手を携え、歴史と文化を活かす地域づくりのため、ともに進んでまいりましょう。

2013年10月19日

第1回全国ヘリテージマネージャー大会参加一同